

# 【宮城県亶理郡山元町】【宮城県】【宮城労働局ハローワーク仙台】 被災地域の復興に向けた企業の人材確保・就職支援

## 【課題・目的】

宮城県沿岸の被災地域である亶理郡及び福島県相馬地域等（※）における**復興を促進するため**、当該地域への就職希望者に対する支援及び地元企業の人材確保支援を目的に、「出張ハローワークin山元」を開催。

※当該地域は隣接しており同一生活圈・経済圏を形成していることから合同開催した。

## 【実施概要】

- ◆ 企業説明会と就職面接会を中心に、就職活動に関するセミナー、相談コーナーによる職業相談・職業訓練・就農相談を実施。
  - ◆ 山元町における雇用や住宅等生活支援に関する情報発信「町からのお知らせ」を実施。
- ※ これ以外にも、ハローワークは隔週の巡回相談を行っており、地元求職者の支援を継続的に実施。

### （特色）

- ① **企業選定**においては、県（誘致企業）、町（山元町工業界の会員企業）、ハローワーク（求人事業主）からそれぞれ選定。
- ② **広報**においては、ハローワーク（求職者に対する周知等）と自治体（広報誌掲載・広報用チラシ各戸配布・災害FMラジオ局等）との連携による効果的な広報を実施。
- ③ イベント終了後においても、就職活動を行う者に対しては、ハローワークが**隔週の巡回相談**を実施。

## 【役割分担】

### 【山元町】

- ◆ 会場の確保、提供
- ◆ 町内企業への参加勧奨（工業会の会員企業）
- ◆ 町内全世帯への各戸配布等による広報
- ◆ 「広報やまもと」による町内居住者及び町外避難者への周知
- ◆ 当日の「町からのお知らせ」実施

### 【宮城県】

- ◆ 広報用チラシの作成
- ◆ 企業への参加勧奨（誘致企業）

### 【ハローワーク】

- ◆ ハローワーク仙台が中心となり、
- ◆ 各主催機関との連絡調整
- ◆ 開催内容の立案と準備
- ◆ 企業への参加勧奨（求人事業主）
- ◆ 求職者への参加案内
- ◆ 山元町災害FMラジオへの出演によるPR

## 【効果】

- ◆ 企業説明会や就職面接会等、労働局・ハローワークの行う企業の人材確保・就職支援に加え、「町からのお知らせ」として山元町からの説明を行うことにより、参加者に対し、国・自治体が実施している様々な取組を発信することができた。
- ◆ 参加者アンケートより「有意義」「いい機会」「次回も開催を」という声が聞かれた。
- ◆ 参加数：企業16社・求職者161名



《27.2.20 出張ハローワーク in 山元》

### ＜山元町コメント＞

今回の出張ハローワークは、町民の雇用の場の創出や、町外からの就業者の増加を図るものとして重要であり、人口減少が著しい本町にとって、定住人口の流出防止や町が考える「町内外の交流人口の増加によるにぎわい創出」に繋がるものであることから、継続してこうした取り組みを実施していきたい。

### ＜労働局コメント＞

山元町からの開催要望を受け、周辺の自治体や宮城県、福島労働局との連携を図りながら準備を進めた。このことにより、多方面からの参加案内による多数の参加や、企業の人材確保や就職支援と自治体における施策等の情報発信を同時に実施することができた。

今後も継続的に連携を密にし、同様のイベント開催に活かしていきたい。

《照会先》 宮城労働局職業安定部職業安定課  
TEL:022-299-8061 <http://miyagi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>

## 【秋田県】【秋田労働局】

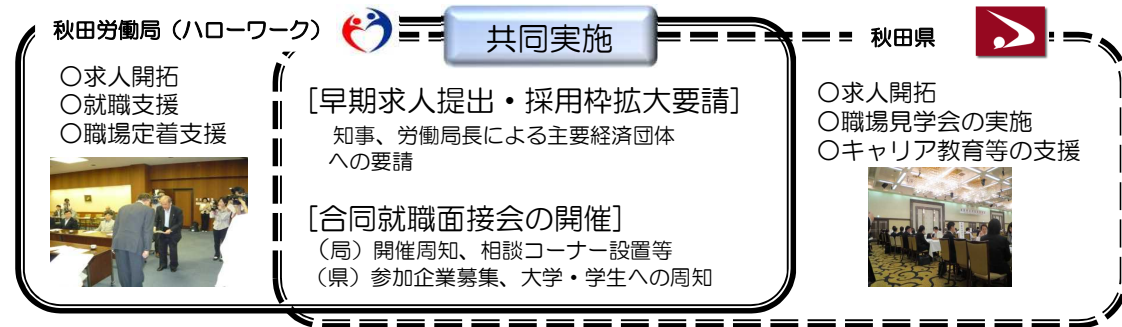
# 県との連携により、新規学卒者の県内就職促進事業、Aターン就職促進事業を実施

### 【目的・課題】

少子高齢化等による人口減少が著しい本県にとって、企業や地域の活性化のために労働力の維持、確保は重要課題。このため、県の雇用対策との連携により県内の労働力確保に向けて以下の雇用施策を実施。

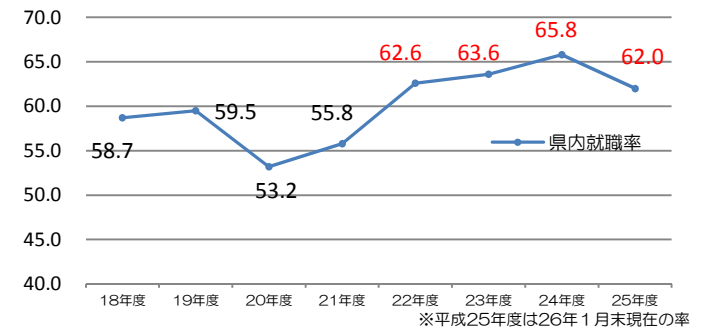
### 【実施概要・役割分担】

新規学卒者の県内就職促進 [目標 新規高卒者県内就職率70%以上]

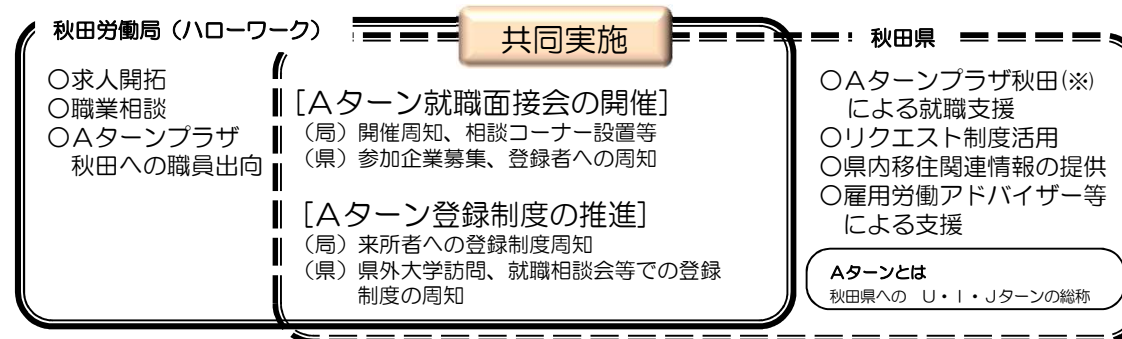


### 【効果】

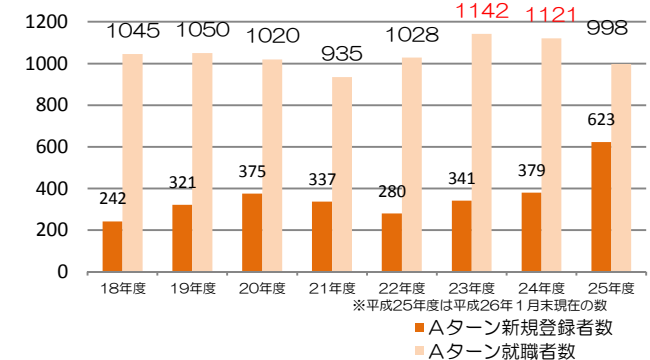
新規高卒者県内就職率4年連続6割超



Aターン就職の促進 [目標 Aターン就職者数1,100人]



Aターン就職者2年連続1,100人超



※ 秋田県が東京に開設しているAターン就職支援施設

### 【秋田県】

社会情勢の変化に対応し、秋田の成長を目指す観点から策定している「ふるさと秋田元気創造プラン」に掲げる雇用対策については、これまで労働局との連携により、一定の効果が得られており、引き続き互いに協力を図り、将来に向けて希望のもてる秋田を実現していきたい。

### 【労働局】

若者の県内就職促進、県外からの人材確保を含めた各種の雇用対策については、引き続き円滑かつ効率的に実施されるよう秋田県との連携体制を強化し推進していきたい。

## 【川口市】【埼玉労働局ハローワーク川口】

# 地元企業の人材確保のため、「しごと発見！川口の地元企業見学会」を実施

### 【目的】

学生・生徒等を対象に川口市が認定する技能振興推進モデル事業所への企業見学会を実施。

作業の見学や経営者らの話を通じて、企業の魅力や強みなどを知ってもらい、市内企業や技能に対する理解を高め、ものづくりの技能継承と若者等の人材確保につなげる。

### 【実施概要】

- ◆川口市内企業への見学会（借上バス）
- ◆ハローワーク職員及び企業研究セミナー講師による就職に向けてのセミナー実施。



### 【役割分担】

#### 【川口市】

- ◆近隣の高校、大学への参加勧奨
- ◆川口市HP、市報により周知
- ◆見学先事業所の選定
- ◆企業研究セミナー講師による就職に向けてのセミナー実施
- ◆保険加入、バス借上など

#### 【ハローワーク】

- ◆対象者に対して就職に向けた情報提供及びセミナー実施
- ◆職業相談窓口等で一般求職者に対してリーフレットを活用した周知、参加勧奨実施
- ◆見学会後の職業紹介

### 【効果】

- ◆実績：2回実施。参加企業計4社。  
一般求職者21名、高校生12名参加。
- ◆参加企業からは「地元の製造業をアピールする場を設けてもらえて良かった」等、参加者からは「この川口の製造業で働いて貢献したい」等の声が聴かれた。

#### <川口市コメント>

ハローワークと連携を行ったことにより見学先事業所に興味をもった求職者の方に求人票等の説明も併せて行うことが可能となり、求人事業所、求職者双方にとって満足度の高い見学会になったと思う。今後も連携をとりながら、就職につながる見学会を実施したいと考える。

#### <ハローワークコメント>

都内への就職を希望する求職者が多くを占める中、見学会を通じて地元企業にも目を向けてもらうことができた。今後も市との連携を図りながら、一人でも多くの者が地元企業に就職し、地域の活性化につながるよう事業を展開していきたい。

## 【千葉県館山市】【千葉労働局ハローワーク館山】

# 地元で就職したい求職者と地元企業との積極的な出会いを創出する「ジョブサポートたてやま」を開催

### 【課題・目的】

これまでの経歴にとらわれず、希望職種を広げてもらい、興味ある企業を見つけてもらうための「出会いの場」を提供する。

### 【実施概要】

参加企業が事業内容や求める人材等をスクリーンを用いて説明（1企業5分程度）、その後、求職者との個人面談（説明）を1人10分程度行う。



### 【役割分担】

#### 【館山市】

- ◆事業全体の企画運営
- ◆参加企業誘致
- ◆広報及び求職者参加受付
- ◆当日の進行、運営
- ◆実施後の結果検証

#### 【ハローワーク】

- ◆参加企業誘致の協力
- ◆参加企業の求人受理
- ◆求職者への参加呼びかけ
- ◆当日の職業相談

### 【効果】

第1回	参加企業数7社	参加求職者数36名	紹介数18件	採用数4件
第2回	参加企業数8社	参加求職者数34名	紹介数1件	採用数0件
第3回	参加企業数2社	参加求職者数7名	紹介数1件	採用数0件

（第3回目については、規模を縮小して実施）

#### ＜館山市コメント＞

企業については、ただ応募者を待っているだけではなく、一度に多くの求職者に対し直接自社PRが出来たことで、とても有意義な場となったようです。

また、求職者も一度に複数の企業の情報を得ることが出来、単に雇用条件だけではなく、企業理念や職場の雰囲気まで知ることができ、好評だったようです。参加企業の開拓、参加者への呼びかけに関しては、自治体独自の展開には限界があり、イベントとしてある程度の規模を確保するためには、企業、求職者との接触のあるハローワークさんとの連携が必要不可欠であると思いました。

#### ＜ハローワークのコメント＞

求人票等ではわからない、企業の「生の声」を聞くことにより、より正確な企業情報を求職者が把握できたと感じました。このような「出会いの場」を提供できれば、ミスマッチも減少していくと思われます。

## 【千葉県柏市】【千葉労働局ハローワーク松戸】 柏地域の雇用情勢の安定のため、 柏市企業合同就職面接会を共同開催

### 【課題・目的】

柏市及び近隣在住の求職者と人材確保のためハローワーク松戸に求人申込みをしている地元企業を中心に、雇用対策の一環として行うもの。

### 【実施概要】

- 1 主催 柏市、松戸公共職業安定所  
地元企業や商工会議等所の協賛を得て開催
- 2 参加者
  - ・柏市内を中心に、松戸公共職業安定所管内の事業所
  - ・柏市及び近隣市町村在住の求職者
- 3 面接会に参加した柏在住求職者を雇用した企業が柏市内に所在する場合、柏市から雇用促進奨励金を交付して定着支援を図ることとする。

### 【役割分担】

#### 【柏市】

- ◆参加者の募集・周知
- ◆企業への参加要請
- ◆会場の借用

#### 【ハローワーク】

- ◆参加企業の求人票作成及び取りまとめ
- ◆参加者との連絡調整
- ◆面接会の進行指揮

### 【効果】

- ◆ 参加事業所数・・・22社
- ◆ 求人件数・・・51件（求人数157人）
- ◆ 求職者数・・・74人
- ◆ 面接数・・・延べ85件
- ◆ このイベントにより、9人採用決定



### ＜ハローワークコメント＞

柏市とは福祉に特化した「福祉のしごと合同就職面接会inかしわ」も共催により開催しました。

今後も地方自治体と連携を図り、一体となった雇用対策を進めて参ります。

## 【神奈川県】【神奈川県労働局】

# 県知事と労働局長が共同により、経済団体へ雇用対策を要請

### 【課題・目的】

障害者及び新規学卒者やフリーター等の若年者の雇用促進は、地域における重要な課題（※）であり、これらの雇用機会の確保・拡大のためには、雇用に向けた地域企業の理解が重要。

※県内企業の障害者雇用率は、平成25年6月1日現在で1.68%と、法定雇用率の2.0%のみならず、全国平均の1.76%をも未だ下回っている。

※新規学卒者の就職内定率は、リーマンショック前に比べると未だ低調な推移となっている。

### 【実施概要】

障害者及び若年者の雇用促進について、県知事と労働局長が共に、県内の経済団体を訪問し、協働作成した要請文を手交し、障害者及び若年者の雇用機会の維持・確保等について協力を求める。



経済団体へ要請する黒岩県知事（左）、水野労働局長（右）

### 【役割分担】

#### 【神奈川県】

- ◆訪問日程の調整
- ◆要請文の作成
- ◆要請訪問時説明資料準備
- ◆記者発表

#### 【労働局】

- ◆訪問日程調整
- ◆要請文の作成
- ◆要請訪問時説明資料準備

### 【効果】

- ◆神奈川県内のハローワークを通じた障害者の就職件数は、4年連続で過去最高を更新した。
- ◆平成26年7月末現在の高卒求人数は対前年比36%増となり、多くの企業から求人票の早期提出について理解が得られた。

#### ＜神奈川県コメント＞

障害者及び若年者の雇用促進は重要な課題であり、とても意義のある取組みだと考えています。

#### ＜労働局コメント＞

地域の経済団体のトップに地方自治体と国が直接働きかけることで、その傘下の構成団体への周知への影響力が増すため、雇用促進が期待できます。

## 【神奈川県横浜市】【神奈川県労働局ハローワーク横浜】 就職希望者への就職面接会を共同開催

### 【課題・目的】

求人情報だけで、その企業に応募することに不安を感じる場合があり、また、書類選考による応募が多い中、双方の理解が十分得られずに、結果的にマッチングの機会をのがしてしまうこともあることから、求人・求職の「顔が見える出会いの場」の確保が必要と考えられる。

### 【実施概要】

神奈川県労働局においては、横浜市と雇用対策協定を結び、雇用に関する施策が効果的に実施されるよう連携・協力をしている。

そこで構築された連携基盤を軸に、よこはま合同就職面接会を開催し、横浜市内が就業場所である企業とそこでの就業を希望する求職者の出会いの場を提供。

会場の確保、求人確保、広報、資料作成及び当日の運営等、横浜市と協働で作業を行っている。

### 【役割分担】

#### 【横浜市】

- ◆開催場所の選定・契約
- ◆場内レイアウト・設営業者選定・契約
- ◆開催周知広報
- ◆当日の運営等

#### 【ハローワーク】

- ◆企画から参加事業所募集・選定
- ◆開催周知広報
- ◆当日の運営等
- ◆合同就職面接会の運営全般

### 【効果】

- ◆平成25年度においては、3回開催し、総計で参加事業者数154件、参加者数1,125名、面接件数1,345件であった。

※ 毎年3回開催するなかで、平成25年度から第2回目の開催については、市との協議の結果、正社員限定とするとともに、広域マッチングを目的に、都内ハローワークと連携し横浜市内から通勤可能な都内の企業も参加している。



### ＜横浜市コメント＞

横浜市内での仕事を探している方、人材を探している企業双方にとって、直接面接できる機会は貴重であり、今後もハローワークと連携して取り組んでいきたい。

### ＜ハローワークコメント＞

横浜市と協働して作業を進めることで、事務を迅速に進めることができた。また、求職者からは、直接面接できる機会の提供として期待されており、今後も継続して実施していきたい。

## 【神奈川県横須賀市】【ハローワーク横須賀、ハローワーク横浜南】 地域の中小企業の人材確保のため、共同事業として事業所見学ツアーを実施

### 【目的】

ハローワークの求人票を見るだけでは見えてこない横須賀市内企業の魅力を求職者に伝える機会を提供し、求職者の再就職及び企業の人材確保を支援する。

### 【実施概要】

ハローワークの求職者を対象に求人事業所の見学バスツアーを実施

- 第1回 平成25年4月26日（金）  
介護事業所2社 参加者27名 採用1名
- 第2回 平成25年10月30日（金）  
食品製造事業所1社 参加者14名 採用8名
- 第3回 平成26年3月6日（木）  
介護事業所1社 参加者8名



### 【役割分担】

#### 【横須賀市】

- ◆借上げバス調達・費用負担
- ◆市の広報誌における周知
- ◆広報パンフレットの作成
- ◆参加者へのアンケート実施

#### 【ハローワーク】

- ◆見学先事業所の選定・連絡
- ◆県内ハローワークへの周知
- ◆求職者の事前申込受付
- ◆当日の運営及び調整

### ＜横須賀市コメント＞

応募前に求人事業所を実際に見学できることで、求職者は安心して求人に応募できると考える。

### ＜労働局コメント＞

地方自治体と連携した人材確保の方法として大変効果的である。特にマッチング強化が求められている介護事業所等での効果が期待される。

### 【効果】

- ◆事業所の環境や雰囲気などを知った上で応募できる。
- ◆求職者へ直接事業所のアピールができる。
- ◆事業所からは、行政と連携した良い事例であるとの評価を受けている。
- ◆平成25年度は、3回実施・49人参加・参加者のうち9人就職



## 【富山県砺波市】【南砺市】【小矢部市】 【富山労働局ハローワーク砺波】 地方自治体との連携による「地域ふれあい説明会&面接会」を開催

### 【課題・目的】

求人者と求職者間の職種、雇用形態、能力等のミスマッチによる未充足求人に対する充足対策の一環として「地域ふれあい説明会&面接会」を開催。離職者の早期再就職促進、管内求人企業の人材確保機会の提供を目的として、管内地方自治体と連携した雇用機会の確保・拡大に努める。

### 【実施概要】

- ◆管内の1自治体当たり年間2回ずつ、合計6回開催。（3自治体）
- ◆1回当たり求人企業平均8社、求職者120名程度が参加。
- ◆参加企業から企業概要・求人内容説明を5分程度行った後、各企業ブースに分かれて個別面接を実施。



### 【役割分担】

#### 【砺波市、南砺市、小矢部市】

- ◆会場借用手続き及び会場使用料負担
- ◆面接会開催の広報

#### 【ハローワーク】

- ◆面接会開催の広報
- ◆企業・求職者への参加勧奨
- ◆求職者に対する事前マッチングの推進

### 【効果】 [平成25年度実績]

- ◆各自治体当たり2回ずつ合計6回開催。
- ◆参加事業所数45社、参加求職者709人、面接件数129件、就職件数29件。

#### ＜砺波市、南砺市、小矢部市コメント＞

- ◆会場使用料がローコストで、1開催当たり5人程度の就職者数が確保出来ていることから費用対効果は高い。
- ◆人材不足業種の求人企業の参加や地域の実情に応じた参加企業の要望も可能であるなど、地域に根差した雇用支援策として有効であり、平成26年度においても継続開催を希望。

#### ＜ハローワークコメント＞

- ◆一度に複数の地元企業との面接が可能なおかげで、より多くの開催を望む声が寄せられるなど求職者から好評を得ている。
- ◆雇用保険受給者を中心とした参加勧奨、求職ニーズに基づいた参加求人企業の選定等により、就職意欲の喚起、早期再就職促進に結びついている。

## 【静岡県】【静岡労働局ハローワーク】 求職者と県内企業をマッチング、『就職面接会』を実施！

### 【課題・目的】

県内の雇用環境は改善傾向にあるものの、学生等の就職環境や正社員雇用は依然として厳しい状況にある。

学生等（既卒3年以内を含む）や一般求職者を対象とした面接会を開催することにより、求職者の就職促進と県内企業の人材確保を支援する。

### 【実施概要】

- ★就職面接会：企業の実施担当者と求職者による面接会（選考・会社説明ブース）
- ★就職応援セミナー：会場内で面接会直前に、キャリアカウンセラーによる面接の心構えやコツをアドバイスするセミナーを実施
- ★企業PRタイム：参加企業のプレゼンテーション方式によるPRを実施（10社程度）
- ★リクエスト制度：参加求職者の自己PRシートを見た企業からのリクエスト（面接申込）制度
- ★相談コーナー：ハローワーク職員やジョブカフェ職員による職業相談



### 【役割分担】

#### 【静岡県】

- ◆会場の確保、設営
- ◆県広報誌・HP・メール配信・ラジオ等による広報
- ◆配布資料の準備
- ◆アンケート集計、参加者集計

#### 【労働局・ハローワーク】

- ◆ハローワークによる周知
- ◆参加企業の取りまとめ、連絡
- ◆会場案内看板、企業看板等準備
- ◆終了後、内定状況の取りまとめ

### 【効果】

- ◆ 学生（既卒3年以内を含む）向け面接会により228人が就職  
(7月、8月、10月、12月開催分)
- ◆ 一般求職者向け面接会により32人が就職 (5月、9月開催分)

#### ＜静岡県コメント＞

地域企業への関心を高め、雇用のミスマッチの解消に向け、就職面接会は、一定の役割を果たしている。求職者の早期就職、県内企業の人材確保につながるよう、関係機関と連携し、求職者・求人者の支援をしていきたい。

#### ＜労働局コメント＞

県、労働局・ハローワークで協力して実施することでお互いの強みを活かしながら効果的な就職面接会の実現につながっている。今後も多くのマッチング実現に向け、また求職者、求人者にとって有意義な面接会となるよう関係機関で協力して開催していきたい。

## 【愛知県瀬戸市】【尾張旭市】【愛知労働局ハローワーク瀬戸】 地域の中核産業の人材確保のため、共同事業として就職フェアを実施

### 【課題・目的】

地場産業である窯業は、陶磁器からセラミック精密部品製造へと業態変更しており、より高度な技術が要求されるため、優秀な人材の確保は管内中小企業において最も重要な課題である。そこで、地域の技術力の高い中小企業が、優秀な人材を確保する機会を提供することで、地元企業への就職を希望する求職者とのマッチング効果を高める。

### 【実施概要】

瀬戸公共職業安定所・雇用対策協議会・瀬戸市・尾張旭市・商工会議所・商工会・愛知新卒応援ハローワークとの連携により、新規学卒者を主な対象者として管内企業との面接会を年1回程度実施（平成25年度は3回実施、平成8年より地域関係団体と連携し継続実施）。



### 【役割分担】

#### 【瀬戸市・尾張旭市】

広報による周知・設営協力  
当日運営協力

#### 【雇用対策協議会】

費用負担・事務局・設営協力  
当日運営協力

#### 【ハローワーク】

企画運営全般・参加企業募集・求人一覧作成・大学・近隣施設への広報・設営・当日運営・集計

### <労働局コメント>

地場産業である窯業を含め、地元企業の若年労働力の確保のために自治体と連携を深め、継続的な就職支援を実施しており、自治体、企業、学生を含む求職者からの期待も高い。

### 【効果】

平成25年度（計2回）の実績

- ◆参加企業数 53      ◆求人延べ件数 835件
- ◆来場者数 307人（うち学生116人）      ◆内定者数 25人（うち学生6人）

※新規学卒者の地元就労にはその効果と期待が高く、地方自治体や企業からも複数回の開催を切望されている

# 【大阪府泉佐野市】【大阪府】【大阪労働局ハローワーク泉佐野】 地域の中核産業の人材確保のため「合同就職面接会」と 多様なニーズに対応する「相談会」を実施



## 【課題・目的】

泉佐野市、泉佐野商工会議所、大阪府、ハローワーク泉佐野が協力して、地域において、中高年齢者等をはじめとした求職者の多様な雇用・就労ニーズに対応するため、**地域労働ネットワークを活用して、合同就職面接会と各種相談会を同時開催すること**により、求職者の雇用就労促進を図る。

## 【実施概要】

就労相談（就職困難者等、障害者、若年者、中高年齢者）、職業適性診断、女性のための生活相談、シルバー人材センター相談、雇用保険・社会保険相談、求職者向けセミナー、周知・広報、就職面接会、求人検索パソコンによる求人情報の提供 等

## 【役割分担】

### 【泉佐野市、大阪府、他】

- ◆就労相談（就職困難者等、障害者、若年者、中高年齢者）
- ◆職業適性診断
- ◆女性のための生活相談
- ◆シルバー人材センター相談
- ◆雇用保険・社会保険相談
- ◆求職者向けセミナーの実施
- ◆周知・広報（市報、商工会議所報、市ホームページなど）

### 【国】

- ◆就職面接会の開催
- ◆求人検索パソコンによる求人情報の提供
- ◆周知・広報（ハローワーク所内掲示、窓口での誘導など）

## 【効果】

- ◆来場者数106名 企業数18社 面接者数47名（延数）採用者数14名
- ◆各就労相談等13名
- ◆職業適性診断16名 就活セミナー11名 面接速成講座12名

### ＜泉佐野市コメント＞

昨年度は、106名の参加があり、その内、14名の方が就職決定した。就労困難者等に対し、今後も継続した支援を実施していきたい。

### ＜労働局コメント＞

就職困難者等に対し、市・府・HWその他関係機関が連携を強化し、それぞれの特性を活かした取組を一堂に会して行うことにより、より効果が高まると考えております。

＜照会先＞ 大阪労働局職業安定部職業安定課 ……………(TEL:06-4790-6300)

【大阪府茨木市】【大阪労働局ハローワーク茨木】  
**「2014茨木市就労支援フェア 合同就職面接会」**  
 ～在職者・大学生も参加可能な大阪府内初の夕方開催～

【課題・目的】 茨木市、茨木商工会議所との連携により、求職者の再就職促進を図るとともに、地域における事業所の求人充足を図る

【実施概要】

- ・ 合同就職面接会（16時～19時）
- ・ 中高年齢者就労相談
- ・ 若年者就労相談
- ・ 就職支援セミナー  
 （人事担当者が面接で見ているポイント）

【役割分担】

【茨木市等】

- ◆ 会場手配、準備等
- ◆ 周知広報
- ◆ 就労相談

等

【国】

- ◆ 求人受理
- ◆ 職業相談、職業紹介
- ◆ 周知広報

【効果】

- ◆ 参加者 137名（うち大学在学中18名）  
 面接件数 133件 就職11件
- ◆ 地方自治体、商工会議所が持つ幅広い広報媒体を用いて、効果的な周知広報を実施
- ◆ 若年者に地元企業をあっ旋することで、地元活性化を図っていくことができたと思われる。



＜茨木市コメント＞  
 ハローワーク・商工会議所・市が役割分担し各々の強みを活かすことにより、効率的な運営・効果的な就労支援を実施することができました。

＜ハローワークコメント＞  
 夕方開催のおかげで、大学生や、在職者の方にも参加していただくことができました。今後も連携を強化し、地元を盛り上げる取組を展開していきたいと思ひます。

《照会先》 大阪労働局職業安定部職業安定課 (TEL:06-4790-6300)

## 【和歌山県】【和歌山労働局】

# 県内各地や東京で、学生等に和歌山の企業との出会いの場を提供

### 【課題・目的】

和歌山の中小企業の人材確保と、Uターン就職の促進

### 【実施概要】

- ◆和歌山へのUターン就職を希望する新規学卒予定者及び一般求職者を対象とした合同企業面談会の開催【県内各地・7回】
- ◆首都圏在住の学生等に和歌山の企業の魅力をPRする合同企業説明会の開催【東京・1回】

### 【役割分担】

#### 【和歌山県】学生等へのPR

- ◆県出身学生（親元）へ、合同企業面談会スケジュールのDMを送付
- ◆大学を通じた県出身学生への周知
- ◆ホームページでの周知

#### 【労働局】企業への参加の働きかけ一般求職者へのPR

- ◆参加企業の確保と求人開拓
- ◆ハローワークを通じた一般求職者へのPR
- ◆東京労働局への協力依頼

【効果】 平成25年度実績  
採用者数 149人

参加企業321社、参加者898人、求人1,848件



東京開催の就職フェアの風景

#### ＜和歌山県コメント＞

県外大学への進学率が高い本県において、Uターン就職の促進と優秀な人材確保による県内企業の活性化を連携して進めていきたい。

#### ＜労働局コメント＞

県外大学進学者等に、新卒応援ハローワークの周知・利用促進を図り、本県の求人情報や企業情報を幅広く発信していきたい。

## 【鳥取県】【鳥取労働局・ハローワーク】

# 県と労働局の共同事業による「求人開拓強化月間」の実施

### 【課題・目的】

県内の雇用情勢は、大手企業の大量離職事案が発生したこと等により、厳しい状況が続いており、求人の総量確保が喫緊の課題。

### 【実施概要】

鳥取県と鳥取労働局が共同し、平成25年4月を「求人開拓強化月間」として設定、企業への求人開拓に取り組み、有効求人倍率を全国平均以上とする。

【目標】 訪問企業から1,000人の求人を確保

- 知事・労働局長による経済団体要請、企業訪問
- 鳥取県・鳥取労働局幹部等による企業訪問

### 【役割分担】

#### 【鳥取県】

- ◆ 県幹部による企業訪問  
(目標：50社⇒実績：56社)
- ◆ 雇用創造協議会による企業訪問  
(目標：300社⇒実績：379社)

#### 【労働局・ハローワーク】

- ◆ 労働局幹部による企業訪問  
(目標：50社⇒実績：52社)
- ◆ ハローワークによる企業訪問  
(目標1,200社⇒実績1,983社)

### 【効果】

- ◆ 県と労働局の共同実施により、企業側の理解が一層進んだ。
- ◆ 訪問件数 2,470社 (達成率154.4%)
- ◆ 求人確保数 2,322人  
一般求人1,797人 (達成率179.7%) + 学卒求人 525人



#### <鳥取県コメント>

県と労働局による求人開拓の共同実施を通じて、数値目標を掲げて集中的に活動を行い、目標を大きく上回る求人数を確保した。

#### <労働局コメント>

県知事の初めてとなる企業訪問による求人開拓、労働局長との直接要請等、県と共同実施により、雇用拡大に関する経済団体や企業の理解が一層深まるとともに、職員の意識もさらに高まった。

# 【岡山県瀬戸内市】 【ハローワーク西大寺／ジョブスポットせとうち(一体的実施施設)】 **地元企業の雇用促進・就職困難者等就労支援のため一体的実施 事業として就職面接会を実施**

## 【課題・目的】

瀬戸内市に居住する就職困難者や若年者、子育て女性等の就職促進を図るため、瀬戸内市保健福祉部及びハローワーク西大寺が連携して就職面接会を開催。

瀬戸内市に居住する求職者が、様々な地元企業の人事担当者に直接話を聞くことにより、求められる人材・求める仕事を具体的に理解し仕事選びに役立てる。

## 【実施概要】

日時：平成25年12月6日 13時30分～15時30分  
 場所：瀬戸内市保健福祉センター ゆめトピア長船  
 主催：西大寺公共職業安定所/ジョブスポットせとうち、瀬戸内市



## 【役割分担】

### 【瀬戸内市】

- ◆会場の確保
- ◆面接会周知・広報
- ◆求職者受付
- ◆福祉相談コーナー

### 【ハローワーク】

- ◆参加事業所選定
- ◆求人情報一覧作成
- ◆周知用ポスター・リーフレット作成
- ◆求職者への周知・広報
- ◆仕事相談コーナー

## 【効果】

- ◆参加事業所：5社 求職者：12名 支援学校教諭：1名  
 関係団体：2名が参加 就職決定：1名
- ◆参加事業所より次回開催を期待する声を頂いた。

### <瀬戸内市コメント>

瀬戸内市に居住する就職困難者や若年者、子育て女性等のための就職促進に効果がみられる取組として、今後もハローワークと連携して実施していきたい。

### <労働局コメント>

仕事探しをしている方に、地元企業の状況を知ってもらうよい機会となった。今後も市と協力して開催したい。



## 【広島県東広島市】【広島労働局ハローワーク広島西条】 地域産業の人材確保のため、就職ガイダンスを共同開催

### 【課題・目的】

雇用の安定を図り、市内産業を活性化するための施策を推進し、市内産業の振興に寄与する。

### 【実施概要】

- ◆一般求職者、新規学校卒業者、障害者等を対象とした就職ガイダンスの開催。
- ◆事業所と高等学校進路指導担当教諭との情報交換会の開催。
- ◆企業ガイドの発行、配布。など

### 【役割分担】

#### 【東広島市】

- ◆ダイレクトメール、広報誌による事業所への周知
- ◆会場予約及び設営、東広島商工連絡協議会との調整

#### 【ハローワーク】

- ◆求職者への周知
- ◆就職ガイダンス参加事業所の要請及び求人の確保
- ◆関係機関との調整

### 【効果】

- ◆就職ガイダンスの開催により、平成24年度において55名が採用された。
- ◆ガイダンス参加事業所や求職者からは、同時に複数の事業所や求職者との面談が行え、効果的であると好評である。



#### ＜東広島市コメント＞

ハローワークと一体的に事業を行うことで一定の効果をあげており、今後も協力して事業を推進していきたい。

#### ＜労働局コメント＞

今後とも地方自治体と密接な連携をとりつつ、雇用対策が充実するよう積極的に支援していきたい。

# 【広島県三次市】【広島労働局三次ハローワーク】 若者の地元定着と事業所の人材確保支援を図るため、 就職相談・面接会を共同実施

## 【趣 旨】

三次市における産業界が必要とする人材を確保するため、三次市内への就職を希望する方に職業選択の機会を提供するとともに、若者の地元定着と市内事業所の人材確保支援を図る

## 【実施概要】

- ◆ 一般求職者、新規学校卒業予定者（中学・高校生を除く）、既卒者を対象とした**就職ガイダンス**の開催。
- ◆ ハローワーク、高等技術専門校、三次市担当者による**就職相談**を実施。
- ◆ 「**みよし就活ニュース**（※）」、**企業ガイドの発行、配布** など

※三次市雇用対策協議会が発行し、面接会に合わせて年1回発行。

⇒帰省中の方も参加できるように**就職相談・面接会を8月に開催**。



## 【役割分担】

### 【三次市】

- ◆リーフレット、ポスターの作成及び新聞折り込み、関係機関への配布
- ◆県内大学、市内高校への訪問周知
- ◆三次市雇用労働対策協議会、商工会との連携、調整
- ◆会場予約及び設営 など

### 【国】

- ◆求職者への周知
- ◆就職ガイダンス参加事業所の要請及び求人確保
- ◆関係機関との調整
- ◆職業相談ブースの開設及び相談

## 【効果】

- ◆ 三次市雇用労働対策協議会会員企業を中心に、一度に複数の事業所の会社説明や面接を受けることができ、労働力の地元定着を促進することができた（平成25年度は55人の求職者が参加し、15件の就職が決定した。）。
- ◆ 国と地方自治体が連携し雇用対策に取り組む姿勢を事業所にアピールすることができる。

## ＜三次市コメント＞

地域の基幹的な労働力の需給調整機関であるハローワークに期待し、連携を深めてまいりたい。

## ＜労働局コメント＞

国と地方自治体が一体的に取り組むことにより、幅広く求職者に面接を周知できた。

若者の地元定着と地域企業の人材確保のため、今後とも地方自治体と密接な連携をとりつつ、雇用対策が充実するよう積極的に支援していきたい。

## 【山口県柳井市】【山口労働局ハローワーク柳井】 柳井市雇用創造協議会が実施する 実践型地域雇用創造事業におけるハローワーク柳井との連携

### 【目的】

実践型地域雇用創造事業における人材育成メニュー及び就職促進メニューの効果的実施

### 【実施概要】

- ◆ 各種セミナー受講者募集にあたり、ハローワーク窓口において求職者への積極的な周知及び受講勧奨を行った。
- ◆ 求人開拓のため、ハローワーク職員が市職員と共に管内事業所30社を訪問した。



(柳井市長と所長による求人開拓のための事業所訪問)

### 【効果】

- ◆ 効果的な人材育成  
就職意欲の高い求職者が受講することにより、効果的に地域が求める人材育成を行うことができた。
- ◆ アウトカム指標  
事業初年度における就職目標数45人に対して、150人の就職を達成することができた。
- ◆ 波及効果  
地域の求人の掘起こしにつながり、平成25年9月の求人倍率が1.33倍で県内トップとなった。

#### <柳井市コメント>

ハローワークとの良好な関係が地域の企業及び求職者の方にとって非常に重要であり、効果的であると認識した。

#### <労働局コメント>

柳井市の事業を支援することにより、波及効果として多くの求人を確保することができ、地域の労働市場の改善につながった。

《照会先》 山口労働局職業安定部職業安定課(TEL:083-995-0380)

(HP:<http://yamaguchi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>)

## 【山口県・県教育委員会】【県内各市】【山口労働局・ハローワーク】

# 県内企業に若者等の雇用確保、女性の活躍促進を要請

【課題・目的】 若者、企業整備による離職者、高年齢者、障害者等の雇用確保及び女性の活躍促進を図る。

【実施概要】 山口県知事と県教育長と労働局長が経済団体及び県内主要企業200社以上を、また、各市長とハローワーク所長が地元企業100社以上を訪問し、積極的な取り組みを要請した。

### 【役割分担】

#### 【山口県】

- ◆訪問日程の調整
- ◆要請文書の発送（2,500社）

#### 【各市】

- ◆訪問日程の調整

#### 【労働局・ハローワーク】

- ◆雇用情勢、求人等の情報提供
- ◆要請文書の共同作成



経済団体を訪問

#### ＜山口県コメント＞

県と労働局をはじめ、関係機関が連携することにより、各機関の強みを活かした要請活動となり、より多くの成果をあげることができた。

#### ＜労働局コメント＞

各種雇用対策については、地方自治体と労働局・ハローワークが密接に連携して取り組むこととしており、引き続き効果的な取り組みを展開していきたい。

### 【効果】

- ◆平成25年7月末現在の高卒求人数は対前年比25%増となり、多くの企業から求人票の早期提出について理解が得られた。
- ◆平成25年9月末現在の就職内定率は、59.3%（全国4位）となり、平成26年3月末現在の就職内定率は、99.4%と過去最高となった。

## 【山口県】【長門市】【山口労働局ハローワーク萩・ハローワーク長門】 地域企業の人材確保及び地元就職希望者の雇用促進のため合同就職面接会を実施

### 【課題・目的】

雇用機会の少ない長門地域において、主要産業の観光・水産関連の企業閉鎖が続き雇用情勢が悪化したことから、地域の雇用改善を図るために合同就職面接会を開催

### 【実施概要】

- ・日時：平成26年3月13日(木) 13時30分～15時30分
- ・会場：長門市「ルネッサながと」メインアリーナ
- ・主催：ハローワーク萩・長門、山口県、長門市

### 【役割分担】

#### 【山口県】

- ◆面接会の広報
- ◆キャリア・コンサルティングの実施
- ◆福祉・農林漁業関連情報の提供

#### 【長門市】

- ◆面接会の広報
- ◆面接会場の確保・設営
- ◆市の各種助成制度の周知及び相談(企業・求職者)

#### 【労働局・ハローワーク】

- ◆参加企業の開拓・案内
- ◆求職者への周知・案内
- ◆求人情報等資料の作成
- ◆周知用ポスター等の作成



### 【効果】

- ◆ 就業場所が主として長門地域の企業31社が参加し、長門市内在住の者を中心に54名の求職者が出席した。
- ◆ 山口県や関係機関との連携により訓練や福祉などの各種支援コーナーを設けて、求職者の相談に応じた。
- ◆ 面接会を契機に閉鎖企業の離職者の再就職は6割程度まで進んだ。

### ＜長門市コメント＞

小規模事業者が大半を占める本市で就職面接会が開催されることは初めてであった。今後も労働局・県と協力して雇用情勢の改善を図りたい。

### ＜労働局コメント＞

離職者対策として局も全面的に応援体制を取ったが、今後も県や市と連携して引き続き当地域の雇用対策に力を入れていきたい。

## 【香川県丸亀市他】【香川労働局ハローワーク丸亀】

### 若年者に対する就職支援及び事業所への労働力確保対策として、 若年者を対象とした合同就職面接会を実施（ハローワーク丸亀・坂出・観音寺合同）

#### 【課題・目的】

合同就職面接会開催にあたって、求職者への周知を図るため、自治体の「広報誌」「ホームページ」による周知、チラシ・ポスターの設置、事業の「後援」名義使用を依頼した。

#### 【実施概要】

ハローワーク3所管内の全自治体5市、5町から「広報誌」への開催告知記事の掲載、チラシ・ポスターの設置及び「後援」名義使用承認に協力いただいた。また、丸亀市においてはホームページ上での周知にも協力をいただいた。

#### 【役割分担】

##### 【丸亀市他4市5町】

- ◆「広報誌」への記事掲載
- ◆「チラシ、ポスター」の設置
- ◆「ホームページ」への記事掲載
- ◆「後援」名義使用承認

##### 【ハローワーク】

- ◆参加企業確保(60社)
- ◆チラシ、ポスター等への「後援」名義記載など



#### 【効果】

ハローワークの周知及び自治体の広報誌、ホームページによる周知により、合同就職面接会の参加求職者数は87人、就職者数は7人（うち既卒者2人、中途採用5人）となった。

#### <労働局コメント>

今後、自治体主催として開催を計画している合同就職面接会（開催実績はない）への協力依頼があるなど連携体制が強化された。

## 【長崎県】【長崎労働局ハローワーク長崎】

# 造船業での人材確保のため、共同事業として職場見学会を実施

### 【課題・目的】

県の基幹産業である造船業においては、グローバル化に対応した事業戦略が求められており、従来型造船から高付加価値船に特化した造船への展開を図る必要がある。

このため県の産業政策と連携した雇用創造策や人材育成を行い、地域に安定的で良質な雇用を生み出す。

### 【実施概要】

戦略産業雇用創造プロジェクトに基づく造船業の職場見学会を、県と国が共同で実施。

### 【役割分担】

#### 【長崎県】

- ◆見学企業の開拓
- ◆見学会全体の運営管理
- ◆参加者の把握

#### 【ハローワーク】

- ◆地域求職者への周知  
(リーフレット配布、所内放送の実施、雇用保険受給者説明会での周知)



#### <長崎県コメント>

国との連携で県南地区3回、県北地区1回開催。求職者が造船関連企業の仕事内容を理解し、就職促進に繋げたい。引き続き実施予定。

#### <労働局コメント>

県と労働局が緊密に連携した共同事業を行うことにより、地域での雇用対策が効果的に推進されるものと期待しております。

### 【効果】

ハローワークでの求職者への周知や集合場所をハローワーク内にするなど、県と一体となり開催した結果、4回の開催で60名の参加があり、うち3名は造船業での就職が決定。